

議会運営委員会記録

1. 期日 平成 30 年 10 月 24 日(水) 開会 13 時 50 分
閉会 13 時 57 分
2. 場所 第 1 委員会室
3. 議題
(1) 正副議長選挙について
(2) 第 4 回定例会開催予定表の訂正について
4. 出席者 杉崎委員長、渡辺副委員長、前田委員、二宮委員、野地委員、添田委員
二見議長
事務局 戸丸事務局長、和田庶務課長、鈴木主任主事
傍聴議員 7 名
一般傍聴者 0 名
5. 経過

(1) 正副議長選挙について

委員長 これより議題に入る。議長あいさつは御本人が辞退されたので割愛させていただく。議題は、正副議長選挙についてと第 4 回定例会開催予定表の訂正についてとする。まずは正副議長選挙について事務局より説明いただく。

庶務課長 去る 7 月 25 日の議会運営委員会で、正副議長選挙の際に行われている立候補の意思表示とそれに続く質疑で、質疑は本会議ではなく、休憩中の議会全員協議会で行うものと決定した。決定による当初の想定としては、立候補の意思表示をする段階になってから、議長が本会議中の休憩を宣言して、第一委員会室に場所を移し立候補者の意思表示演説と、それに対する質疑応答に入ることとしていた。この決定をしたが、演説のために議場から第一委員会室に移動するのではなく議会全員協議会をそのまま議場で行えないかと、議会運営委員会の休憩中に話があり、この提案について事務局で実施できるかどうか研究を行う必要があったため保留としていた。法令関係や、関係機関に当たったところ、議会全員協議会を議場で開催するかどうかは、その議会の判断であり、違法性は無いことであった。事務局としては、議員の皆さんに異論が無ければ、意思表示とその質疑にかかる議会全員協議会に限定して、議場で開催できるように先例及び確認事項に加えてはどうかということで、本日提案した。お手元には先例確認事項の追加案が配布されているのでご参照願う。メリットとしては議員と事務局、傍聴人が場所を移動せずに済むこと、それによって会議の流れという意味では連続性を保てるということが一番大きいかと思う。これにつ

いていかがかということであり、説明は以上である。

委員長 確認する。この議会全員協議会の仕切り役の議長は、最高齢の議員ということでよろしいか。それを踏まえて委員の皆さまの意見をいただく。

野地 本会議場での議会全員協議会というと、例えば執行者側の皆さま、もしくは傍聴者の皆さまもいらっしゃるのか、退席なのか。そのところは法的にどうなのか。

庶務課長 選挙の時は、執行者は退席している。傍聴人は、退席の対象ではなく、引き続き傍聴席にいることはできる。

野地 それであれば、この部屋であろうが議場であろうが、部屋だけの違いということで認識した。したがって、議場の中で議会全員協議会を開催してよろしいかと思う。

委員長 他の委員の方はいかがか、よろしいか。資料の「□立候補者意思表示と質疑を行うための議会全員協議会に限り、議場で開催することができるものとする。(平成30年10月24日議会運営委員会)」これを追加とする。この決定事項は11月26日の議会全員協議会の協議事項とするが異議ないか。

(「異議なし」との声あり)

(2) 第4回定例会開催予定表の訂正について

委員長 第4回定例会開催予定表の訂正についてである。

庶務課長 こちらは事務局のミスで、配布したものに12月25日火曜日の最終日の本会議の開催時間が9時半とあるが例年通り13時ということで訂正させていただきたい。実際の日程の詳細については議会運営委員会で確定させると思うが、今の時点では皆さんのお手元にある予定表を13時と修正をお願いしたい。

委員長 この件についてよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長 この件については、11月26日の議会全員協議会で報告する。以上で議会運営委員会を閉会する。

閉会 13時57分